

大会名	第28回関東高等学校バスケットボール新人大会				チーム名	1Q	2Q	3Q	4Q	延長	合計
期 日	H30.2.10	会 場	清原体育館	試合No.	正 智 深 谷	26	21	24	23		94
主 審	大庭 英裕	副 審	菊地 真吾	A 5	日 体 柏	14	14	24	19		71

正智深谷高等学校(埼玉)

コーチ 成田 靖 A・コーチ 福井 直人 マネジャー 高山 英希

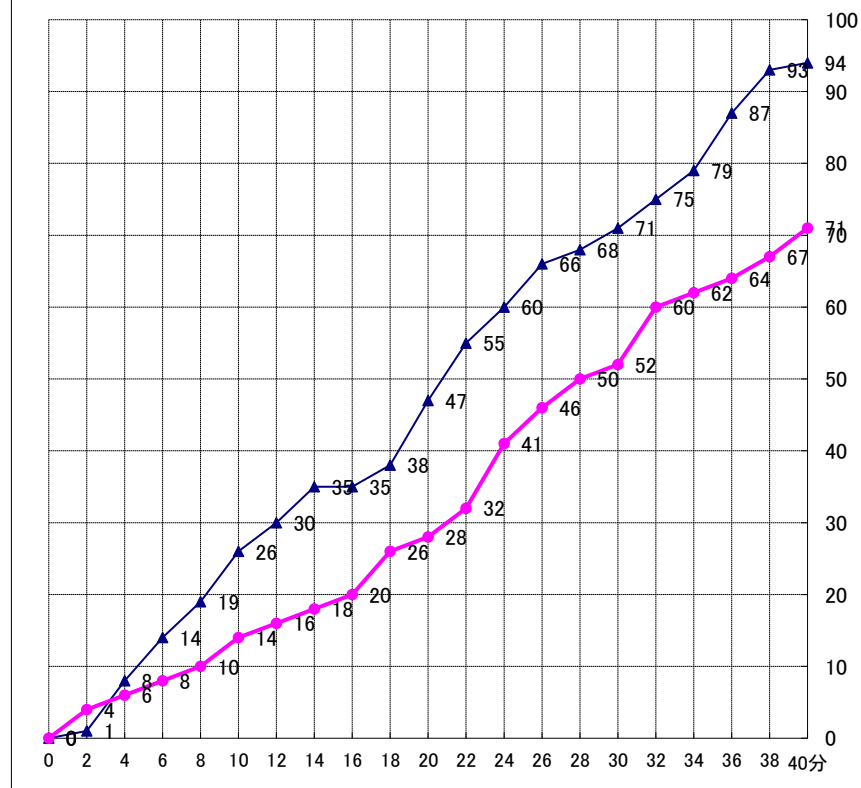
選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
勝山 大輝	4	20	1	4	6	11	5	12	3	10	5	15
渡部 琉	5	19	3	12	5	10	0	0	2	1	6	7
石橋 柊	6	16	0	0	6	12	4	5	1	2	3	5
伊藤 陵	7	15	5	15	0	4	0	0	2	0	3	3
松本 大輝	8	24	4	7	4	8	4	5	2	0	2	2
草野 颯斗	9	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
渡邊 諒一	10											
安田 琉空	11											
八尾 航平	12	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
川端 蓮己	13	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
土橋 広英	14	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0
横田 利道	15	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
五十嵐 雷文	16											
木幡 春樹	17											
神矢 龍之介	18											
チ ャ ム									0	3	10	13
合 計		94	13	39	21	46	13	22	12	17	29	46
		成功率	33.3%		45.7%		59.1%					

日本体育大学柏高等学校(千葉)

コーチ 野澤 亨 A・コーチ 福士勝哉 マネジャー 大塚瑞穂

選手名	背番号	得点	3ポイント		2ポイント		フリースロー		ファウル	リバウンド		
			成功	試投	成功	試投	成功	試投		OF	DF	合計
澤田 樹	4	4	0	5	2	7	0	0	1	1	2	3
飯塚 環	5	6	0	1	3	6	0	0	2	1	5	6
松岡龍平	6	0	0	0	0	7	0	0	1	0	5	5
小市涼太	7	12	0	0	5	7	2	2	3	0	2	2
高橋輝記	8											
高橋唯人	9	2	0	2	0	0	2	3	0	0	0	0
ケイタ シェイク ポーハカー	10	21	0	0	10	14	1	1	1	2	7	9
広橋悠磨	11	2	0	0	1	3	0	0	3	1	0	1
西島来哉	12	0	0	1	0	1	0	0	1	0	0	0
飯泉陸斗	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
中新井田 稔	14											
ダウダ ジャキテ	15	21	0	1	10	17	1	2	2	2	5	7
渡辺優介	16	0	0	0	0	2	0	0	2	2	0	2
伊藤倭麻	17	3	1	2	0	3	0	0	3	0	1	1
中村小太郎	18											
チ ャ ム									0	4	4	8
合 計		71	1	12	31	67	6	8	19	13	31	44
		成功率	8.3%		46.3%		75.0%					

得点経過



戦評

第1Q、両チームともハーフマンツーマンで入る。先制したのは日体柏。その後も得点を重ね、開始2分で1対6とリードする。一方の正智深谷は、早い展開に持ち込みたいが、日体柏の戻りも早く⑤渡部の3Pなどで反撃し第1Q残り4分21秒までで14対6と逆転に成功する。日体柏はトラベリングなどのミスや、必死のシュートブロックがゴールデンディングになるなど得点を縮められず、逆に正智深谷が堅実なバスケットで得点を重ね26対14で正智深谷のリードでこのクォーターを終えた。

第2Q、正智深谷は早いトランジションからの速攻や、⑦伊藤の3Pで更に得点を重ねる。日体柏も⑩ケイタに集めてインサイドで得点を狙っていきたくところだが、マッチアップした正智深谷の④の強固なディフェンスとゴール下では味方のダブルチームでそれを抑え込む。残り時間1分8秒、正智深谷は⑤渡部の3Pが再び決まり、更に終了間際⑧松本がブザービートで3Pを決め前半は47対28で終えた。第3Q、両チームとも得点を重ね、両者一歩も引かない立ち上がり。しかし正智深谷は⑧松本の連続3Pなどで、残り5分を切ったところで64対42と引き離しかかる。日体柏は1回戦同様、コートプレイヤー5人全員交代を繰り返す戦術で、何とか喰らいつこうとするが、なかなか点差を縮めることができず、71対52でこのクォーターを終えた。第4Q、両チームこの試合が今日2試合目ということもあり少し足が止まってきた。そんな中、正智深谷のミスがやや目立つようになり、それを見逃さない日体柏は⑮ダウダがターンオーバーからシュートを決めるなど点差を詰めてきた。追われる正智深谷は⑤渡部のドライブやアウトサイドシュートなどで応戦。また、日体柏にもミスが出るようになり最後は94対71で試合終了となった。

記入者 草地 由紀也